

校長室便り

(文責)
ドーハ
日本人学校
校長 酢谷昌義

かなえよう!「願いごと」

7月7日に「七夕集会」を行いました。今年も執行部が立派な笹飾りを準備してくれました。七夕とはどんな日なのかの説明を聞いた後、みんなで短冊に願いごとを書きました。子ども達は2枚ずつの短冊を受け取り、一生懸命願いごとを考えていました。その願いごとを書いている子ども達の真剣な表情が、とても印象的でした。

貼り付けられた短冊には、いろいろな願いごとがありましたが、将来の夢を書いたもの



どんな願いごとを書こうかな?

が多く感心しました。将来の夢に限らず、こんなふうに自分の願いを書き表すということは、とても大切なことだと思います。自分の想いを言葉にするだけでも変わると言います。それを書き表すことで、自分自身の想いをより強くすることができるからです。

私の好きな言葉に「念ずれば花開く」という言葉があります。これは、ただ思っていればかなうということではないと考えています。「念ずる」という言葉には、常に心にとめて強く思うという意味があります。いつもそのことを思い、その実現に向かって努力するからこそ、自分の願いをかなえることができるようになるのではないのでしょうか。

子ども達の願いは、どれもみんなその子らしさが表れて



みんなの願いごとを貼り付けます

いると思えました。だから見ていて楽しくなりました。

夢が持ちにくい世の中になったと言われますが、子ども達はそれぞれ素晴らしい夢を持っています。将来の夢・差し迫った願いといろいろありますが、その実現のためにまず自分が行動を起こさなければ始まりません。その夢の実現に向けて、一步一步前進して行ってほしいと思います。私達は、そのための手助けが少しでもできたら良いと思います。



2人組のフルーツバスケット



みんなの願いごとがかないますように!! 「念ずれば花開く」

校長室便り

(文責)

トー八
日本人学校

校長
酢谷昌義

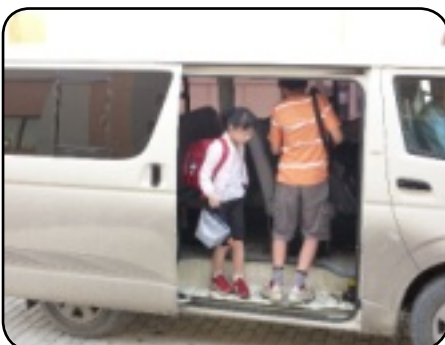


今学期「3つのあ」は?

いよいよ今週で第1学期が終わります。今年度も普段の生活の中で気をつけることとして「3つのあ」を掲げ、子ども達に呼びかけてきました。

まず1つめの「あいさつ」について振り返ってみたいと思います。児童生徒数が増え、全体として非常に活気のある学校になってきましたが、気持ちの良いあいさつができるかどうかは児童生徒数に比例するわけではありません。人数が増えるほど、個人差が目立つようになって来たと感じています。

毎朝バスから降りてくるたびに、本当に気持ちの良いあいさつができる子がいます。大きな声で歯切れ良く、しかもきちんと相手の目を見てできるあいさつは、される方もとても気持ちよくなります。反対にこちらから声をかけても、なかなか返事が返ってこなかったり聞き取れないほどの声の大きさがったりする子もいます。あいさつはしても、そっぽを向いてしていること



も時にはあります。

あいさつは基本的な生活習慣の中でも、最も重要なものではないかと思えます。このことは多くの方が納得されるのではないのでしょうか。それほど重要であるにも関わらず、なかなか身に付けられないのも事実です。繰り返し繰り返し働きかけるしかありません。

あいさつ			
心 =		×	×
形 =	×		×

上に示したのは、あいさつを心と形の面から表したものです。は心の面でもあいさつの大切さを理解し、形としても気持ちの良いあいさつができています。は全くその反対で、どちらもできていないことを表します。

では と を比べてみた場合、どちらがよいのでしょうか。はあいさつの大切さを理解しているけれど、実際には声に出してあいさつができていない。はあいさつはきちんとできているのだが、しないとうるさく言われるからと、自分ではまだあいさつに対して理解が十分でない。

どちらも指導が必要ですが、子ども達に対してはまず を優先すべきではないかと思えます。以前「幼児と、初めて何かをする時、人は全て強制

される。方途が分からないから強制を受け入れるほかはない。それが文化である。」という曾野綾子さんの言葉を紹介しました。しつけも全く同じように強制から始まるものだと思います。

しつけとはまず「形」から入って、それを自分なりに身に付け必要なものは取り入れ、不必要なものは削っていくというプロセスだと考えられます。そう考えると、まず「理解ありき」ではなく「形ありき」ということになると思うのですが、いかがでしょうか。

明日は参観日・ 学期末懇談会です

第1学期も残すところわずかになりました。保護者の皆様には、これまでいろいろとご協力いただきありがとうございました。お陰様で第1学期の終業式を無事に迎えられそうです。

《明日の予定》

参観授業(5時間目)

13:30~14:15

ミニミニ音楽発表会

14:20~14:30

学期末懇談会

14:35~15:20

お忙しい時とは存じますが、ぜひご出席くださいますようお願いいたします。

校長室便り

(文責)

ドーハ
日本人学校校長
酢谷昌義

整えられた靴箱は気持ちが良い

「3つのあ」(その2)

昨日に引き続き「3つのあ」を振り返ってみます。

2つめの「あせ」ですが、これはみんな良く頑張っていたように思います。昨年以來ドーハ日本人学校の子供達は、何に対しても前向きに本当に一生懸命取り組んでいます。私がこの「あせ」を強調するのは、どんなことに対しても簡単にあきらめたり逃げ出したりしない粘り強さを身につけてほしいと願うからです。自分がしなければならないことに対し、やる気を前面に本気で取り組めば、たとえ失敗し思うようにならなくても、そこから学ぶことはとても多いと思います。

「自分にはどうしてもできないこと、どうしても嫌いなことがある、ということを見出すのは偉大な幸運である」というふうにおっしゃっている方がいます。私もそう思います。自分には何ができて何ができないのか。そういうことを自分で学ぶたびに、自分

の道はこれだという選択が見えてくるのではないのでしょうか。自分の道というと大げさですが、自分の良さや持ち味・自分を生かす方法といえれば分かりやすいかもしれません。

しかしこれらは、いい加減に取り組んでいて見つけられるものではありません。全力で臨むからこそ、その人の本当の姿が見えてくるのだと思います。学習・生活の両面で、これからはしっかりと「あせ」を流すことができるように頑張りたいと思います。

3つめの「あとかたづけ」は、やはりなかなか難しいものです。何をやる時でも、根気よく最後までやり遂げることによって自分の力を確かにすることができるのだと思います。「これで良いかな?」と自分で自分を振り返るためにも、あとかたづけまできちんとすることが大切です。

そういうところに意識が向くようにするために、子供達には「靴そろえ」をきちん

とすることを呼びかけました。登校時と下校時の毎日2回、必ず靴は履き替えます。その時に、靴箱の中にきれいに整えて入れるということです。

靴を入れた後「きれいに入れたかな」と振り返ってみてほしいのですが、それがなかなかできません。靴箱の中にかかとをそろえてきれいに収めようと思うと、両手するのが確かな方法です。子供達はほとんど片手で入れています。その後きちんと整えている子もいます。しかしそれができている子はほとんどいません。わずかなことのようにですが、履き物の整頓がきちんとできるのは非常に重要です。継続して働きかけていきたいと思っています。

明日の下校は「2時40分」です

明日は放課後活動を行わず、全学年2時40分に下校(学校出発)します。ここに来て体調を崩す子どもが増え、また夏休みに入るとすぐに旅行に出かけたり帰国されたりする方もあり、子ども達の体調管理を考え変更いたしました。

急な変更・連絡で申し訳ありませんが、ご理解ご協力くださいますようよろしくお願いいたします。



そうじ態度はとても立派です



頑張った図工・美術の作品

校長室便り

(文責)

ドー八
日本人学校

校長
酢谷昌義



1年生の参観授業「音読発表」
緊張しながらも、一生懸命音読発表
に取り組みました。

頑張る子ども達

今週の子供達の様子を
写真でお知らせします。



2年生の参観授業「スイミー」
国語で学習したことを劇にして発表
しました。それぞれが任された役割
を果たし、とても上手にできました。



3・4年生「クレープ作り」



リコーダー演奏「北の国から」
素敵な音色が響きわたりました。



5・6年生「クッキー作り」



第1学期最後の全校昼食風景

1・2年生「チョコ・マフィン作り」
みんなで役割を分担し、一生懸命お
やつづくりに取り組みました。



中学部「ケーキ・プリン作り」

冊子「海外子女教育」にドー八日本人
学校が紹介されました。その記事を配
付しましたのでご覧ください。

「参観授業・懇談会」 大変お世話に なりました

昨日は参観授業・学期末懇談
会にお越しく下さりありがと
うございました。子ども達が
いつも以上に張り切って、授
業にミニミニ発表会にと臨ん
でいたのが大変印象的でした。

今学期の成長をしっかりと
認め励ましていただけたら、
子ども達はさらに意欲を高め
ていくと思います。ご指導よ
ろしく願いいたします。



全校児童生徒が元気よく歌い演奏した「ミニミニ音楽発表会」

校長室便り

(文責)

ドーハ
日本人学校校長
酢谷昌義

直くん・雪乃さんとお別れ

日々成長する子ども達

今日で平成22年度第1学期が無事に終了しました。

終業式では、まず「3つのあ」について振り返りました。子ども達に話したことは、先日この便りに書いた内容とほぼ同じです。少し違うのは、できないことができるようになるのは素晴らしいことだが、できていたことができなくなることもあるということ。そして、またできるようになりということを繰り返し、徐々に確かな力になっていくということを話しました。

できていたことができなくなると、大人はすぐに「なぜ」と思ってしまいます。しかし子ども達にはそういうことがたくさんあります。決して怠けているわけでも力が落ちたわけでもなく、次の飛躍に向けて力をためている時なのだと思います。静かに話を聞いている子ども達の顔を見ながら、そんなことを考えていました。

子ども達一人一人が「今学期頑張ったこと」を発表しま

したが、それを聞きながら日々子ども達は成長しているのだということ、改めて感じました。私達教員は、そうした子ども達の成長・変化を敏感に感じ取り、それを認め励ましてやるのが仕事です。だから「子どもから目を離すな!」とよく言われます。

開校時に比べ、児童生徒数は3倍になっています。9月からは約4倍になります。とは言ってもまだ30人ほどの小規模校です。子ども達の数が増えていくからこそ、今まで以上に一人一人をしっかりと見ていかなくてはならない

「栗田さん」 お世話になりました!

事務の仕事をしてくださっていた栗田さんが、都合によりこの7月でお辞めになります。昨年の開校時以来、事務以外の仕事を含め本当にお世話になりました。子ども達とも大変良く遊んでくださいました。心からお礼申し上げます。今後のご健勝とご多幸をお祈りしております。



第1学期：終業式



栗田さん：退任式

と思っています。またそれができるのが、小規模校の1番の良さでもあります。

日々成長する子ども達とともに私達も学び続けながら、第2学期からまた頑張っていきたいと思います。

みんな楽しい夏休みになりますように!

保護者の皆様へ

この1学期間、いろいろな面でご協力いただき本当にありがとうございました。日本人学校は、日本人会と保護者の皆様のご理解ご協力なくしては成り立ちません。本当に温かいご支援に心から感謝いたしております。

今回は約2か月の長い夏休みになります。子ども達にとって、またご家族の皆様に取りまして有意義なものになりますようお祈りしております。

第2学期開始日

・始業式：9月14日(火)
イドホリデーが多少ずれ込む可能性がありますが、ドーハ日本人学校はこの日から始めます。

スクールバス配車時間

・9月12日または13日に各担任から電話連絡等をさせていただきます。連絡が取れなかった時は学校・担任までお問い合わせください。

学校TEL：66547217 (33291757)